

大垣公演



Juernjakob Timm
Andreas Timm
Fumiyo Goshima

ドイツの風を大垣に…
ユルンヤーコブ・ティム &
アンドレアス・ティム &
五島史誉 トリオリサイタル

2025

11/28 金

18:30開場 19:00開演

大垣市スイトピアセンター 音楽堂

大垣市室本町5丁目51 TEL:0584-74-6050

入場料／一般 3,000円 学生 2,000円 全席自由席

Program

ヘンデル:トリオ・ソナタ ト短調 Op.2-8
ユルンヤーコブ/ アンドレス ティム 五島史誉

ベートーヴェン:チェロソナタ第3番 イ長調 Op.69
アンドレアス ティム 五島史誉

ボツパー:テンポ・ディ・マルチア Op.16a
ユルンヤーコブ/ アンドレス ティム

バリエール:2本のチェロのためのソナタ 第10番
ユルンヤーコブ/ アンドレス ティム

フォーレ:エレジー Op.24
ユルンヤーコブ ティム 五島史誉

シューマン:アダージョとアレグロ Op.70
ユルンヤーコブ ティム 五島史誉

ピアッティ:セレナーデ 二長調
ユルンヤーコブ/ アンドレス ティム 五島史誉

鳥の歌(カタルーニャ民謡)
ユルンヤーコブ/ アンドレス ティム 五島史誉

主催

ユルンヤーコブ・ティム
アンドレアス・ティム
五島史誉
トリオリサイタル 実行委員会

後援

大垣市 大垣市教育委員会

協賛

ジャストワンナイトコンサート事業

問

オカサンホテル事務所
大垣市旭町1丁目5番地
TEL.0584-78-6771 FAX.75-2455

Profiles



ユルンヤーコブ・ティム Juernjakob Timm

1949年に北ドイツのノイブランデンブルグに生まれる。幼少よりピアノのレッスンを受け、13歳よりチェロを始め、ライプツィヒ音楽大学で、フリードマン・エルベン氏に師事し研鑽を積む。この間モスクワやマルクノイキルヒェン、ジュネーブ等の国際音楽コンクールで数々の賞を獲得し、1973年よりライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の首席チェリストとして迎えられると同時にゲヴァントハウス弦楽四重奏団のメンバーとしても活躍を始める。

彼の演奏活動はヨーロッパ各地、アメリカ、南アメリカ、日本などに及びオーケストラの首席チェリストとして、ソロチェリストとしても世界的な名声を得てきた。「プラハの春音楽祭」や、グラナダの「ブラームス祭」、「シュレスビヒ・ホルスタイン国際音楽」や「アンアーバー国際音楽祭」など世界各地の音楽祭にもソリストとして招かれて来た他、ドイツ内外の数々のオーケストラや室内楽団との共演も多い。ソロリサイタル、アンサンブル・ライプツィヒ・ベルリン（ゲヴァントハウス管弦楽団のメンバーとベルリンフィルのメンバー合同のアンサンブル）をはじめ、各種の室内楽団との共演など幅広い演奏活動を続けている。



アンドレアス ティム Andreas Timm

1975年ドイツ生まれ。ライプツィヒ及びリューベックの音大で学ぶ。ザールブリュッケンにおいてグスタフ・リヴィニウス（1990年チャイコフスキー国際コンクールチェロ部門優勝者）に師事。2004年、最高位で演奏家資格試験に合格。ドイツ国内の数々のコンクールで受賞後、2001年マルクノイキルヒェン国際器楽コンクール、チェロ部門で準優勝。同時にドイツ奨学金財団の給費生となりハンブルクで研鑽を積む。2002年ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団の準首席奏者に就任。ソリストとして出演するオーケストラ・コンサートでは、ヘリベルト・エッサー、ガブリエル・フェルツそしてマックス・ボンマーといった高名な指揮者と共演。ゲヴァントハウスオーケストラ元首席チェリストを父とし、ベルリンフィル首席第2バイオリンの兄とともに今世界で最も注目される若手演奏家の一人である。2025年春には芦屋国際音楽祭に招かれ演奏やワークショップを行った。



五島 史誉 Fumiyo Goshima

東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、同大学器楽科卒業。ドイツ・フォルクヴァング音楽大学卒業。その後イタリア・イモラ音楽院フォルテ ピアノ科において研鑽を積む。カッシーナ・デ・ペッキ国際ピアノコンクール、フィリップ・トレビザーン国際ピアノコンクール両コンクールにおいて第2位受賞。現在、名古屋音楽大学、金城学院大学、および岐阜聖徳学園大学短期大学部非常勤講師を務め、後進の育成にも力を注いでいる。2015年「In der Nacht」翌年「Appassionata」をReal Ariaレーベルからリリース。2017年にはフランスにてヴァイオリニスト マリー・カンタグリルとブラームスヴァイオリンソナタ全曲の録音をしている。2017年度名古屋市民芸術祭特別賞受賞。



テーマ／Peace(平和) アーティスト／Jo(丈)

epock-making(エポックメイキング)

世界平和を願って!

今回のリサイタルの目的のひとつは、大垣市民の芸術・文化に画期的な新時代を開くような音楽をめざすことです。

20世紀を代表するチェリスト『故パブロ・カザルス』は、1971年に国連本部で、平和をうたえる歴史に残る名スピーチと「鳥の歌」(カタルーニャ民謡)を演奏しました。今日、世界では戦争や紛争が続いています。もうひとつの目的は、音楽による『平和の願い』を大垣から発信することです。

実行委員会 一同